

令和4年度 事業所向け児童発達支援評価表

ハッピーテラス我孫子

集計日：令和 4年 12月 17日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		指導訓練室内では1人当たり2.47平方メートル以上の床面積が確保されています。お子さまに応じては相談室を利用するなどゆとりのあるスペース確保しております。	引き続き利用しやすい環境設定をしていきます。
②職員の配置数は適切であるか	○		常勤職員では管理者、児童発達支援管理責任者1名、保育士1名、公認心理士1名、児童指導員2名を配置しており、非常勤職員では保育士2名、心理担当職員を配置しております。	指導員が児童全体に目が届くよう、トレーニング前の指導員の配置や役割分担をおこなっています。
③生活空間は、児童に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		事業所内に関しましては可能な範囲で段差を減らすなどの工夫を行っております	建物の構造上、共用部に関してのバリアフリーが十分でない場合がございます。ベビーカーなど階段部分の利用が難しい場合には教室職員までお申し出ください。お手伝いさせていただきます。
④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		利用部分につきましては職員で清掃をしております。気になる部分がありましたら、お申し付けください。	前回アンケート時にいただきました、洗面台周りにつきまして、職員で清掃をさせていただきました。
⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		日々の朝礼・終礼に加え、半年間の目標設定を行い、半年のサイクルで振り返りを行っております。	全ての職員が目標を達成できるよう、PDCAサイクルに取り組んでまいります。
⑥保護者等向け評価表（アンケート）により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年に2回のアンケート実施、結果の開示をしております。改善点に関しては教室内で検討し、回答をHPと教室内で掲載しております。	アンケート結果を教室全体で共有し、職員間で共通認識が図れるよう取り組んでおります。
⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		教室のHPにて公開しております。	引き続きHP上へ掲載をおこないます。
⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は実施しておりません。	業務改善のため前向きに検討してまいります。
⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		月に1回の事業所内勉強会を実施。また、学習支援サポーターなどの外部研修にも参加しております。	引き続き研修の機会の確保をおこなってまいります。

⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画等を作成しているか	○		契約時や個別支援計画の更新時に、お子さまのニーズや課題などを分析し、新たに個別支援計画を更新させていただいております。	全職員が個別支援計画を把握したうえで、引き続き支援をおこなってまいります。
⑪子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		弊社で作成されたアセスメントツールを使用しております。また、当事業所ではVine-LandⅡという検査をもとに適応行動の状況を図っております。	ご希望の方は検査を実施しております。教室職員までお申し出ください。
⑫児童発達支援計画等には、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○		個々人の状況に合わせて、「発達支援」「家族支援」「地域支援」の支援をしております。	今後も、お子さまの状況に合わせて、支援を実施してまいります。
⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画の手立てに、取り組むべき課題の概要が設定されているため、それに沿って課題を立案しております。	今後も、個別支援計画を軸により良い支援を実施してまいります。
⑭活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		その日の担当職員を中心に、意見を出し合いながら作成しております。集団トレーニングの際は複数職員で検討し立案を行っております。	引き続き楽しく参加できるトレーニングの組み立てを行ってまいります。
⑮活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○		お子さまに応じた、トレーニングの実施をしており、一人一人が楽しいトレーニングを立案しております。	お子さまが楽しみながら参加できる活動を提供しています。
⑯子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援計画を作成しているか	○		お子さまの状態像に合わせて、個別、集団、及び、それらを組み合わせて計画を作成しています。	定員の関係で、個別、集団の両方に参加いただくことが難しい場合がございます。
⑰支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		背景状況も踏まえて、その日の担当を適宜変更したり、集団活動の中でのサブ職員の役割なども行っています。	今後も、より良い支援を実施出来るよう、職員間での共有を密に行ってまいります。
⑱支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点などを共有しているか	○		その日の活動の中で感じた疑問点や、保護者様より、ご共有いただいた情報などを基に、次回、どういった支援を行っていくかを、その日の出勤職員全員で話し合いをおこない共有しております。	職員間で、当日の支援を振り返り翌日以降の支援に活かせるよう話し合いをしております。
⑲日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援を実施後、当社システム内に記録を入力、次回以降の支援に活かせるようにしております。	ご希望に応じて、支援記録の開示を行っております。

⑳定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		活動中の様子や、フィードバック時の保護者様とお話の等を介して、見直しの必要性を判断しており、6カ月に1度以上の更新を行っております。	目標達成が早い場合や、優先度の高い課題がある場合には時期を待たず支援計画の見直しを行ってまいります。
㉑障害児通所支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		お子さまに応じて、最適な職員が相談支援事業所に訪問しております。	今後も、関係機関との連携を行いつつ、より良い支援を提供できるよう体制を整えて参ります。
㉒母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		発達センターなど関係機関への訪問を行っております。	今後も、関係機関との連携を行いつつ、より良い支援を提供できるよう体制を整えて参ります。
㉓移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の同意をいただいたうえで、園との連絡・連携をおこなっています。	学校の様子を見学し学校での困りごとにも対応できるよう体制を整えています。学校への支援内容の共有等も行っております。
㉔移行支援として、小学校や特別支援学校（初等部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の同意をいただいたうえで、学校との連絡・連携をおこなっています。	学校の様子を見学し学校での困りごとにも対応できるよう体制を整えています。学校への支援内容の共有等も行っております。
㉕他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		月に1度「すくすく学習会」という我孫子市児童発達支援センターの勉強会に参加しております。	今後も、関係機関との連携を行いつつ、より良い支援を提供できるよう体制を整えて参ります。
㉖保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		新型コロナウイルスの感染予防の観点から、現在はおこなっておりません。	お子さまや保護者のニーズに応じて、実施を検討してまいります。
㉗協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	○	令和2年より、協議会の実施が行われておりません。協議会の実施の確認を市役所に行っております。	開催に繋がるよう、市役所等に要請をしております。
㉘日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回の活動の終わりにフィードバックの時間や、保護者面談などを通して、お子さまの共有を図っております。	共通理解が図れるよう、面談等を設定してまいります。
㉙保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		随時家庭での困りごと等に関して助言を行っていますが、ペアレントトレーニングとしては行っておりません。	保護者との情報共有の強化に努め、家族支援の視点から支援をおこなってまいります。

⑳運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に説明を行っております。また、保護者席に運営規定、重要事項説明書を掲示しております。	運営規定等に変更があった際には、速やかに利用者様に周知するように努めてまいります。
㉑児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		利用契約時および個別支援計画更新時に保護者から同意を得て契約及び更新をしております。	モニタリングや関係者会議を通して、個別支援計画を立案しております。
㉒定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		毎回の活動の終わりにフィードバックの時間や、保護者面談などを通して、疑問やご相談にお答えしております。	フィードバックの短時間では共有が難しい場合は面談等を実施しております。
㉓父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		現状保護者会などの実施は行っていません。	保護者会などのご希望がございましたら、教室職員までお申し出ください。実施を検討してまいります。
㉔子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ご相談や苦情について、受付担当者で解決責任者を配置しております。	利用契約時に、苦情受付に関する説明を行っております。
㉕定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月月初旬にハッピー通信を発行し、バインダーに挟んでおります。	今後も、皆様の目に入る場所に設置してまいります。
㉖個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		職員の雇用契約時に個人情報の保護に関する契約書の提出をおこなっております。初期認定研修時には、個人情報の保護についての研修をしております。	引き続き個人情報の取り扱いに関する取り組みを継続してまいります。
㉗障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		各ご家庭の状況に合わせて、対面や電話での相談、またはメールからの問い合わせに対して電話で回答する等情報伝達ができるようにしております。	お子さまに対しても一人一人にあったツールを使用したり、問い合わせの方法を変えるなどサポートしております。
㉘事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○	コロナの影響や事業所内の教室環境を鑑みて、おこなっていません。	感染状況を踏まえ、今後前向きに検討してまいります。
㉙緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルを策定し事業所内で保管しております。	周知に関しては教室への掲示等を検討しております。

④⑩非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	避難計画の策定、年に2回の職員の研修・避難訓練・救出訓練を行っております。	トレーニング内でも年に2週間、防災をテーマに避難訓練や通報訓練を実施しております。
④⑪事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	契約時にてんかんや服薬の有無について確認を行っております。	医師の指示書がある方については、事業所への共有を検討してまいります。
④⑫食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	契約時に書面でアレルギーの有無について確認を行っております。	医師の指示書がある方については、事業所への共有を検討してまいります。
④⑬ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	児童発達支援管理責任者が中心となり、ヒヤリハットの事例集を作成しております。事業所内で起きたヒヤリハットに関しては、全職員が報告書を確認後ファイリングして保管しております。	ヒヤリハットの傾向を知り、重大アクシデントに繋がらないよう努めてまいります。
④⑭虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	虐待防止委員会を設置しております。初期認定研修で、児童虐待・施設内虐待・障害者虐待に関する勉強会を実施しております。	引き続き事業所内での勉強会にも取り組んでまいります。
④⑮どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	現在、対象のお子さまはいませんが、必要に応じて、ケース会議、担当者会議、保護者面談を経て、身体拘束同意書の作成と個別支援計画への記載を行います。	今後、必要時には左記の対応をおこないます。

令和4年度 事業所向け放課後等デイサービス評価表

ハッピーテラス我孫子教室

集計日：令和 4年 12月 17日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		指導訓練室内では1人当たり2.47平方メートル以上の床面積が確保されています。お子さまに応じては相談室を利用するなどゆとりのあるスペース確保しております。	引き続き利用しやすい環境設定をしていきます。
②職員の配置数は適切であるか	○		常勤職員では管理者、児童発達支援管理責任者1名、保育士1名、公認心理士1名、児童指導員2名を配置しており、非常勤職員では保育士2名、心理担当職員を配置しております。	指導員が児童全体に目が届くよう、トレーニング前の指導員の配置や役割分担をおこないます。
③事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		事業所内に関しましては可能な範囲で段差を減らすなどの工夫を行っております。	建物の構造上、共用部に関してのバリアフリーが十分でない場合がございます。ベビーカーなど階段部分の利用が難しい場合には教室職員までお申し出ください。お手伝いさせていただきます。
④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		日々の朝礼・終礼に加え、半年間の目標設定を行い、半年のサイクルで振り返りを行っております。	全ての職員が目標を達成できるよう、PDCAサイクルに取り組んでまいります。
⑤保護者等向け評価表（アンケート）により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年に2回のアンケート実施、結果の開示をしております。改善点に関しては教室内で検討し、回答をHPと教室内で掲載しております。	アンケート結果を教室全体で共有し、職員間で共通認識が図れるよう取り組んでおります。
⑥事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		教室のHPにて公開しております。	引き続きHP上へ掲載をおこないます。
⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は実施しておりません。	業務改善のため前向きに検討してまいります。

⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		月に1回の事業所内勉強会を実施。また、学習支援サポーターなどの外部研修にも参加しております。	引き続き研修の機会の確保をおこなってまいります。
⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画等を作成しているか	○		契約時や個別支援計画の更新時に、お子さまのニーズや課題などを分析し、新たに個別支援計画を更新させていただいております。	全職員が個別支援計画を把握したうえで、引き続き支援をおこなってまいります。
⑩子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		弊社で作成されたアセスメントツールを使用しております。また、当事業所ではVine-LandⅡという検査をもとに適応行動の状況を図っております。	ご希望の方は検査を実施しております。教室職員までお申し出ください。
⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		その日の担当職員を中心に、意見を出し合いながら作成しております。集団トレーニングの際は複数職員で検討し立案を行っております。	引き続き楽しく参加できるトレーニングの組み立てを行ってまいります。
⑫活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○		お子さまに応じた、トレーニングの実施をしており、一人一人が楽しいトレーニングを立案しております。	利用者さんが楽しみながら参加できる活動を提供しています。
⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		平日、休校日だけでなく、時期や季節に応じた、課題を設定しております。	引き続き、お子さまに応じた課題設定を行い、支援をしてまいります。
⑭子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援計画を作成しているか	○		お子さまの状態像に合わせて、個別、集団、及び、それらを組み合わせて計画を作成している。	定員の関係で、個別、集団の両方に参加いただくことが難しい場合がございます。
⑮支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		背景状況も踏まえて、その日の担当を適宜変更したり、集団活動ではサブの職員を配置し役割を担うよう共有しております。	今後も、より良い支援を実施出来るよう、職員間での共有を密に行ってまいります。

⑯支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点などを共有しているか	○	その日の活動の中で感じた疑問点や、保護者様より、ご共有いただいた情報などを基に、次回、こういった支援を行っていくかをその日の出勤職員全員で話し合っています。	職員間で、当日の支援を振り返り翌日以降の支援に活かせるよう話し合いをしています。
⑰定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	活動中の様子や、フィードバック時の保護者様とのお話の等を介して、見直しの必要性を判断しており、6カ月に1度以上の更新を行っております。	目標達成が早い場合や、優先度の高い課題がある場合には時期を待たず支援計画の見直しを行ってまいります。
⑱ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○	基本活動の「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「余暇の提供」を組み合わせる支援をしています。	「地域交流の機会の提供」に関してはコロナや教室環境の影響を鑑みて、実施ができておりません。
⑲障害児通所支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	お子さまに応じて、最適な職員が相談支援事業所に訪問しております。	今後も、関係機関との連携を行いつつ、より良い支援を提供できるよう体制を整えて参ります。
⑳学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	○	保護者の同意をいただいたうえで、学校との連絡・連携をおこなっています。	学校の様子を見学し学校での困りごとにも対応できるよう体制を整えています。学校への支援内容の共有等も行っております。
㉑医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○	現在医療的ケアが必要な生徒の受け入れがないため行っておりませんが、必要に応じて医療施設との連絡が取れるよう、体制を整えております。	ケアが必要な場合には主治医等との連絡体制を整えて支援してまいります。
㉒就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	必要に応じて連携を行っております。特に児童発達支援から持ち上がりのお子さまに関しましては細かく情報共有を行っております。	直接的に関連施設との情報共有が難しい場合には、相談支援事業所との情報共有を主としております。
㉓学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	中ぽつや特例子会社に保護者や学校を通じて情報提供を行っております。	卒業後の進路先との連携も行っております。ご希望の方は教室職員までお申し出ください。
㉔児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	月に1度「すくすく学習会」という我孫子市児童発達支援センターの勉強会に参加しております。	今後も、関係機関との連携を行いつつ、より良い支援を提供できるよう体制を整えて参ります。

㉔放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	新型コロナウイルスの感染予防の観点から、現在はおこなっておりません。	お子さまや保護者のニーズに応じて、実施を検討してまいります。
㉕協議会等へ積極的に参加しているか		○	令和2年より、協議会の実施が行われておりません。協議会の実施の確認を市役所に行っております。	開催に繋がるよう、市役所等に要請をしております。
㉖日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回の活動の終わりにフィードバックの時間や、保護者面談などを通して、お子さまの共有を図っております。	共通理解が図れるよう、面談等を設定してまいります。
㉗保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		随時家庭での困りごと等に関して助言を行っていますが、ペアレントトレーニングとしては行っておりません。	保護者との情報共有の強化に努め、家族支援の視点から支援をおこなってまいります。
㉘運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に説明を行っております。また、保護者席に運営規程、重要事項説明書を掲示しております。	運営規程等に変更があった際には、速やかに利用者様に周知するように努めてまいります。
㉙定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		毎回の活動の終わりにフィードバックの時間や、保護者面談などを通して、疑問やご相談にお答えしております。	フィードバックの短時間では共有が難しい場合は面談等を実施しております。
㉚父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現状保護者会などの実施は行っておりません。	保護者会などのご希望がございましたら、教室職員までお申し出ください。実施を検討してまいります。
㉛子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		委員会の設置、事業所に苦情解決責任者と苦情受付責任者を設置しております。	利用契約時には、苦情受付に関して説明を行っております。
㉜定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月初旬にハッピー通信を発行し、バインダーに挟んでおります。	今後も、皆様の目に入る場所に設置してまいります。
㉝個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		職員の雇用契約時に個人情報の保護に関する契約書の提出をおこなっております。初期認定研修時には、個人情報の保護についての研修をしております。	引き続き個人情報の取り扱いに関する取り組みを継続してまいります。

⑳障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		各ご家庭の状況に合わせ、対面や電話での相談、またはメールからの問い合わせに対して電話で回答する等情報伝達ができるようにしております。	お子さまに対しても一人一人にあったツールを使用したり、問いかけの方法を変えるなどサポートしております。
㉑事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		コロナの影響や事業所内の教室環境を鑑みて、おこなっておりません。	感染状況を踏まえ、今後前向きに検討してまいります。
㉒緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを策定し事業所内で保管しております。	周知に関しては教室への掲示等を検討しております。
㉓非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難計画の策定、年に2回の職員の研修・避難訓練・救出訓練を行っております。	トレーニング内でも年に2週間、防災をテーマに避難訓練や通報訓練を実施しております。
㉔虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を設置しております。初期認定研修で、児童虐待・施設内虐待・障害者虐待に関する勉強会を実施しております。	引き続き事業所内での勉強会にも取り組んでまいります。
㉕どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在、対象のお子さまはいませんが、必要に応じて、ケース会議、担当者会議、保護者面談を経て、身体拘束同意書の作成と個別支援計画への記載を行います。	今後、必要時には左記の対応をおこないます。
㉖食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に書面でアレルギーの有無について確認を行っております。	医師の指示書がある方については、事業所への共有を検討してまいります。
㉗ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		児童発達支援管理責任者が中心となり、ヒヤリハットの事例集を作成しております。事業所内でおきたヒヤリハットに関しては、全職員が報告書を確認後ファイリングして保管しております。	ヒヤリハットの傾向を知り、重大アクシデントに繋がらないよう努めてまいります。